令和2年度三重県・鳥羽市児童生徒「学習や生活についてのアンケート」の結果・分析について

鳥羽市
令和2年11月

調査の概要

・調査の目的

令和2年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査が実施されなかったことを受け、三重県・鳥羽市において、「学習や生活についてのアンケート」を実施しました。昨年度までに引き続き、鳥羽市として大切にしたい項目等、児童生徒の学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ります。

令和2年度は、全国学力・学習状況調査が実施されなかったことから、鳥羽市と三重県の結果を比較します。

・調査の対象および実施した公立学校数・児童生徒数

区分	小学校第6学年	中学校第3学年
学校数	8校	5校
児童生徒数	110名	144名

1 質問紙調査（児童生徒用・学校用）に関する調査の結果・分析

(1) 児童生徒質問紙調査に関する結果から特に大切にしたいもの

①家庭学習への取組（肯定的な回答）

計画的に学習をしている児童・生徒については、小学校は三重県平均を上回っているものの、数値は下がっています。中学校は三重県平均を下回っているものの、数値の改善は見られます。

鳥羽市において1時間以上家庭学習している児童生徒の割合は、大きく下がっています。子どもたちの日常は忙しさを増していますので、保護者・教師等、周りの大人も関わりながら計画的に過ごすことで、家庭学習の機会をしっかりと確保することにつながり、今後の学力向上を期待できると思います。

(質問：小・中10) 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

小学校	H30	H31	R2
鳥羽市	76.8	76.4	64.6
三重県	67.6	71.7	63.0
全 国	67.6	71.5	-

中学校	H30	H31	R2
鳥羽市	51.8	43.5	49.3
三重県	54.8	52.6	57.1
全 国	52.1	50.4	-

(質問：小・中7) 家庭学習の時間（1時間以上）

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）

* 平成30年度は、質問項目が「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか。」
「家で、学校の宿題をしていますか。」に分かれていました。平成31年度の数値と比較するために、平成30年度の2項目の平均数値を標記しました。

小学校	H30	H31	R2
鳥羽市	71.8	76.3	65.5
三重県	61.1	64.2	67.1
全 国	62.6	66.1	-

中学校	H30	H31	R2
鳥羽市	51.8	66.4	52.1
三重県	55.7	67.5	46.3
全 国	55.2	69.8	-

② 自尊感情（肯定的な回答）

小学校・中学校ともに、「自分にはよいところがあると思う」という項目は三重県平均を上回っています。「先生が、よさを認めてくれている」という項目において、小学校は三重県平均を上回っており、中学校は三重県平均を下回っているとはいえ、昨年度より改善されています。

「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の割合は、小学校で減少、中学校で微増です。地域の行事に参加する児童生徒の割合も、減少していますが、三重県平均より高い水準です。

引き続き、学校生活の中で、また地域の中で、子どもたち一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、評価したり声かけをしたりしていくことが大切だといえます。

（質問：小・中5）自分にはよいところがあると思う。

小学校	H30	H31	R2
鳥羽市	78.2	74.0	81.0
三重県	83.4	80.1	79.1
全 国	84.0	81.2	-

中学校	H30	H31	R2
鳥羽市	82.0	70.9	82.0
三重県	79.9	74.9	79.1
全 国	78.8	74.1	-

（質問：小・中6）先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。

小学校	H30	H31	R2
鳥羽市	85.2	79.5	88.1
三重県	86.4	87.8	86.8
全 国	85.3	86.1	-

中学校	H30	H31	R2
鳥羽市	82.7	79.4	81.2
三重県	84.2	83.1	87.1
全 国	82.2	81.5	-

（質問：小・中13）将来の夢や目標を持っていますか。

小学校	H30	H31	R2
鳥羽市	74.6	81.1	75.5
三重県	83.7	82.6	78.7
全 国	85.1	83.8	-

中学校	H30	H31	R2
鳥羽市	74.4	64.2	64.6
三重県	72.5	69.5	69.4
全 国	72.4	70.5	-

(質問：小・中4) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

小学校	H31	R2
鳥羽市	77.9	75.4
三重県	74.1	71.1
全 国	68.0	—

中学校	H31	R2
鳥羽市	61.9	59.1
三重県	56.8	54.4
全 国	50.6	—

③ 国語・算数・数学が「好き」(肯定的な回答)

小学校では、国語・算数を好きと答えた児童の割合は大きく増加して、三重県平均と同じ水準です。中学校においては「国語の勉強が好き」と答えた割合が減少しました。三重県平均を下回ってはいますが、「数学の勉強が好き」と答えた生徒の割合は増加しています。学力の向上のためにも、学習の楽しさを味わえる授業が大切です。

(質問：小2, 3) 国語・算数の勉強は好きですか。

小学校国語	H31	R2
鳥羽市	56.7	60.0
全 国	64.2	県 60.6

小学校算数	H31	R2
鳥羽市	59	70.0
全 国	68.6	県 69.5

(質問：中2, 3) 国語・数学の勉強は好きですか。

中学校国語	H31	R2
鳥羽市	64.1	57.0
全 国	61.7	県 61.6

中学校数学	H31	R2
鳥羽市	49.7	53.5
全 国	57.9	県 64.0

(2) 鳥羽市として大切にしたい10個の項目について

① めあてと振り返りについて

小学校・中学校ともに「めあて・ふりかえり」についての肯定的回答は多くなっています。学校での取組の積み重ねにより、児童生徒にとっても日常化してきており、「めあて」と「ふりかえり」を結び付けていることが伺えます。よりよい理解につながってきているといえます。

(質問：20) 授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。

小学校	H30	H31	R2
鳥羽市	90.3	88.5	94.5

中学校	H30	H31	R2
鳥羽市	95.5	95.4	95.8

(質問：21) 学習活動を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。

小学校	H30	H31	R2
鳥羽市	89.0	76.9	83.7

中学校	H30	H31	R2
鳥羽市	91.8	92.4	91.7

② 鳥羽市として大切にしたい10個の項目について

ここ3年間では、テレビ・ゲーム・スマートフォンの使用時間は、減少傾向にあります。これまでの取組の成果といえると思います。とはいえ、毎年増減があり、10～30%の前後の児童生徒は、これらに3時間程度を費やしています。教育のICT化が進んでいきますので、今後も情報モラル教育などの機会をとおして、粘り強く指導にあたることが大切です。

家庭学習の時間が伸び悩んでいます。放課後や休日の時間の使い方を確かめながら、学習に充てる時間を確保していくことが必要です。

「いじめはどんな理由があってもいけない」と思わない児童が2%、生徒が12%ほどいます。鳥羽市のすべての大人が、このことを常に意識して子どもたちを見守ることが大切です。

質問⑨⑩（教師や子どもが課題を設定して取り組む学習や話し合いの活動について）の小学校のポイントが上がっています。中学校では減少傾向が続いていますが、70%以上の生徒が肯定的な回答をしていることから、活動のねらいを生徒に自覚させることも必要です。そうすることで、話し合い活動とその結果を発表する活動が、より活発に行われているようになっていくと考えられます。下がっている質問⑧（5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。）は、質問⑨⑩とよく似た項目ですが、自ら考え、自分から取り組んでいたかどうかは問われていません。自ら取り組むことにより、よりよい学習効果が期待できます。

鳥羽市として大切にしたい10個の項目の経年変化
(経年変化) 小学校

	質問項目		H30	H30→ H31	H31	H31→R2	R2	H30→R2
①, ②, ③については, 低い方が改善しているものとします。								
①	平日のテレビ等の視聴 (3時間以上)	本市	35.5	↗	20.0	↘	32.4	+
		全国	-					
		全国との差	-					
②	平日のテレビゲーム等使用時間 (スマホのゲームを含む)(3時間以上)	本市	26.2	→	26.2	↗	22.5	+
		全国	-					
		全国との差	-					
③	平日のスマホの通話やメール, インターネットの使用(3時間以上)	本市	9.7	↗	5.4	↘	6.3	+
		全国	-					
		全国との差	-					
④	平日の学習時間 (1時間以上)	本市	66.9	↗	76.3	↘	65.5	-
		全国	66.2		66.1	県	67.1	C
		全国との差	0.7	↗	10.2	県との差	-1.6	
⑤	休みの日の学習時間 (1時間以上)	本市	68.3	↘	63.0	↗	68.5	+
		全国	-					
		全国との差	-					
⑥	平日の読書時間(30分以上)	本市	45.1	↘	36.2	↗	40.9	-
		全国	41.1	↘	39.8	県	38.8	A
		全国との差	4.0		-3.6	県との差	2.1	
⑦	いじめはどんな理由があってもいけないと思う	本市	97.9	↘	95.3	↗	98.2	+
		全国	96.8		97.1			
		全国との差	1.1	↘	-1.8	↘		
⑧	5年生までに受けた授業では, 先生から示される課題や, 学級やグループの中で, 自分たちで立てた課題に対して, 自ら考え, 自分から取り組んでいたと思いますか。	本市	84.8	↘	76.9	↘	71.8	-
		全国	-			県	74.4	C
		全国との差	-			県との差	-2.6	
⑨	授業では学級の友だちとの間で話し合う活動をよく行っている。	本市	91.0	↘	87.6	↗	90.9	-
		全国	-					
		全国との差	-					
⑩	5年生までに受けた授業では, 学級やグループの中において自分たちで課題を立てて, その解決に向けて情報を集め, 話し合いながら整理して, 発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。	本市	77.2	↘	75.4	↗	82.7	+
		全国	-					
		全国との差	-					

矢印は, 「本市の割合」及び「全国との差」の変位を表し, ↗は「改善・上昇」, →は「変動なし」, ↘は「下降」を表す。

A・B・Cは, 「全国(今年度は三重県平均)との差」の変位を表し, Aは「改善・上昇」, Bは「変動なし」, Cは「下降」を示す。

表中の+・-は, 「本市の割合」の変位を表し, +は「改善・上昇」, -は「下降」を表す。

(経年変化) 中学校

	質問項目		H30	H30→ H31	H31	H31→R2	R2	H30→R2		
①, ②, ③については、低い方が改善しているものとします。										
①	平日のテレビ等の視聴 (3時間以上)	本市	23.9	↑	15.9	↓	21.5	+		
		全国								
		全国との差								
②	平日のテレビゲーム等使用時間 (スマホのゲームを含む)(3時間以上)	本市	21.6	↑	21.2	↓	25.5	-		
		全国								
		全国との差								
③	平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用(3時間以上)	本市	14.2	↓	15.1	↑	10.7	+		
		全国								
		全国との差								
④	平日の学習時間 (2時間以上)	本市	27.9	↑	29.0	↑	44.5	+		
		全国	36.4		35.5		県		45.3	C
		全国との差	-8.5		-6.5		県との差		-1.2	
⑤	休みの日の学習時間 (2時間以上)	本市	52.2	↑	62.1	↓	45.6	-		
		全国								
		全国との差								
⑥	平日の読書時間(30分以上)	本市	36.2	↓	19.0	↑	26.4	-		
		全国	30.9		27.0		県		25.8	A
		全国との差	5.3		-8.0		県との差		0.6	
⑦	いじめはどんな理由があってもいけないと思う	本市	97.0	↓	95.4	↓	87.5	-		
		全国	95.5		95.1					
		cとの差	1.5		0.3					
⑧	1・2年生の時に受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	本市	82.1	↓	79.5	↓	67.4	-		
		全国					県		73.0	C
		全国との差					県との差		-5.4	
⑨	授業では生徒の間で話し合う活動をよく行っている。	本市	90.3	↓	89.3	↓	87.5	-		
		全国								
		全国との差								
⑩	1・2年生の時に受けた授業では、学級やグループの中で、自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。	本市	77.6	↓	77.3	↓	72.9	-		
		全国								
		全国との差								

矢印は、「本市の割合」及び「全国との差」の変位を表し、↑は「改善・上昇」、→は「変動なし」、↓は「下降」を表す。

A・B・Cは、「全国(今年度は三重県平均)との差」の変位を表し、Aは「改善・上昇」、Bは「変動なし」、Cは「下降」を示す。

表中の+・-は、「本市の割合」の変位を表し、+は「改善・上昇」、-は「下降」を表す。

2 鳥羽市教育委員会による学校支援とその成果等の状況

- 各校における公開授業，事後検討会の場の充実をめざすことで，指導者の授業力向上に取り組んでいます。検討会の場における指導助言では，様々な事例を紹介するなどして，各校における実践の深まりを図ってきました。

各校において，主体的に学ぶ姿，対話的に学ぶ姿，深く学んでいる姿を具体化する取組が行われています。教員が教科横断的な学力を意識して，指導事項を明確に持つことで，新学習指導要領をはっきりと意識された授業が多く見られました。また，「少人数指導の充実」といった取組も進められています。

- 三重県教育委員会が作成した「学Vivaセット」「ワークシート」「効果的な少人数指導推進ガイドブックⅠ～Ⅲ」の活用を進めます。また，「全国学力・学習状況調査」「みえスタディ・チェック」等の過去問題への取組も推進してきました。それとともに，授業における「めあてと振り返り」を結び付けることについても，推進を図ってきました。

このような取組を支えるものとして，学Viva通信があります。取り組むべきことや疑問についての詳しい解説が掲載されています。また，現在取り組んでいることの価値づけもなされています。研修会などの機会はもちろん，日頃の取組のヒントとしても，学Viva通信の活用を推奨していきます。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で，例年とは学習の進度が違ったり，取り組み方を変えたりすることがありました。そんな中でも，授業時数の確保に努め，できることをできる形で取り組んでいます。

3 児童生徒の学びの充実を図るための今後の取組

- 中央教育審議会の答申に，『「主体的・対話的で深い学び」の実現とは，特定の指導方法のことでなく，学校教育における教員の意図性を否定することでもない。教員が教えることにしっかり関わり，子供たちに求められる資質・能力を育むために必要な学びの在り方を絶え間なく考え，授業の工夫・改善を重ねていくことである。』とあります。

鳥羽市においても，これまでに大切にされてきた，「子どもが自ら考え，仲間と共に学び，課題を解決していく学習」を推進していくことが深い学びにつながっているものと考えます。教員は授業を進めていく上で，子どもたちの課題を抽出し授業改善していくことで，学習効果を高めるよう努めています。また，目の前の子どもが「何に困り，何をわかりたいのか」を知り，授業計画→授業実践→授業反省→授業改善という日々のPDCAサイクルを確立していくことも効果的であると考えています。

- 自分たちで課題に取り組み，一人ひとりがよく考え，「できるとすごくうれしい。」と話すようになった子どもの変容を目の当たりにし，喜びを実感する教員の姿があります。この姿は学校全体で「学ぶ喜び」「わかる楽しさ」を実感させるため，授業改善の取組を繰り返したからこそ見られたものだと考えます。今後も各校において，学校長を中心に学校全体で同じ方向性を持った組織的・継続的な授業実践を推進し

ていきます。

- 地域の実態に合わせ、時には地域の力を借りて、また地域とともに子どもたちが学びを発信していく場を設定することが必要と考えています。自分の力で発信していくことは、日々の学びを様々な面から引き出すことにつながります。必要な情報を選択し、相手を意識して表現する能力を育てていくことは、子どもたちが社会で生きていくうえで、欠かせない能力です。

例えば、菅島小学校、神島小学校では「島っ子ガイド」でたくさんの島の名物から、ガイドする相手への意識を持って必要なものを選び取り紹介しています。また、培った経験が普段の生活や授業の中にも表れるという双方向の効果が出ています。

子どもたちが普段の学習で培った力を実感する場を、各校や地域の実態に合わせて設定していくことが必要であると考えています。

また、GIGA スクール構想のもと整備された、タブレット端末などの ICT 機器を適切に、効果的に活用した学習の充実も大切です。

- 学習指導の改善・充実、学力向上を図るためには、校内や校区内、鳥羽市全体で教師一人ひとりが力を伸ばしていくことが大切です。そのために、密を避けるなどの対策を講じながら、お互いの授業や研修会等を見合う機会を設けていく必要もあります。校内研修の活性化及び若手教員の人材育成等にも繋がると考えます。

- 全体を通じて、以下の点を押さえた指導の充実を今後も図っていきます。

【児童生徒の活動】

- ・資料を使って発表すること
- ・根拠を示しながら話しあうこと
- ・他の考え方を受け入れ、判断すること
(間違いに対して、「相手の考え方を受け止め、何を加えれば・どこを変えれば『正答』になり得るか考えさせる。」など)
- ・自分で調べたこと、考えたことをわかりやすく文章に書くこと
- ・目的や相手に応じて話したり、聞いたりすること
- ・ICT 機器を積極的に使って、調べたり、考えたり、発表したりすること

【授業・指導】

- ・発展的な学習をする授業
- ・実生活における事象との関連を図った授業
- ・地域の人材を外部講師として招く授業
- ・様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をすること
- ・ICT 機器を積極的に活用する授業

市内各校において、これらを子どもの状況に応じて選択し、組織的・継続的な取組を推進していきます。